



たくさんのご協力、ありがとうございました 平成28年度 共同募金運動のご報告

赤い羽根共同募金は、平成29年度に実施する県・市内社会福祉施設・団体の事業、施設整備や、市社協の地域福祉活動のために使わせていただきます。

また、歳末たすけあい募金は、平成28年度に実施した生活困窮世帯への援護金贈呈事業をはじめ、年末年始の各種地域福祉事業に活用させていただきました。

赤い羽根共同募金

募金額 46,836,014円

目標額 52,000,000円（達成率90.1%）

区分	金額
戸別募金	30,225,102円
法人募金	6,939,041円
篤志募金	3,078,992円
学校募金	1,761,998円
職域募金	1,490,922円
団体募金	938,953円
街頭募金	1,439,822円
その他の募金	961,184円
合計	46,836,014円

歳末たすけあい募金

募金額 23,771,948円

目標額 25,150,000円（達成率94.5%）

区分	金額
戸別募金	20,513,531円
法人・篤志募金	288,077円
学校募金	421,714円
職域・団体募金	2,546,624円
その他の募金	2,002円
合計	23,771,948円

静岡市共同募金委員会 平成29年2月9日現在

身近な地域の福祉活動に役立っています！

使いみちの一部をご紹介します

高齢者の居場所づくりのために

〈城内地区社会福祉協議会〉

城内地区社協では、地域の高齢者サロンで使用するレクリエーション用品や血压計、イスを購入しました。「豊の会場では立ち上がりが大変だったけど、良いイスをいただいて本当に楽になったわ!」「面白いゲーム用品おかげでまたサロンに来る楽しみが増えたよ!」と、参加者は大喜びです。



障がいのある方の就労支援に

〈有りんこの里〉

主に聴覚障がいやろう重複障がいのある方を支援し、巾着や裂き織りなどの布製品を制作している事業所です。赤い羽根共同募金で購入したノートパソコンで、製品をつくるためのイメージを考えたり、流行のデザインを取り入れ、たくさんの人に手に取ってもらえる製品を作っています。



災害ボランティア本部体制強化のために

〈静岡市社会福祉協議会〉

災害時のボランティアによる支援を円滑にすすめるため、災害ボランティア団体、静岡青年会議所、行政と協働して、静岡市内に複数設置される災害ボランティアセンター間の連携強化のため運営合同訓練を実施しています。



就労ができない若者を支援するために

〈青少年就労支援ネットワーク静岡〉

様々な理由により働く機会に恵まれない若者に対し、ボランティアが1対1で支援する「伴走型」の就労支援を行っています。歳末たすけあい募金を活用して、就労に向けたパソコン講座と同じ悩みを持つ若者同士の交流会を行いました。



認知症カフェをご存知ですか？

平成27年度から静岡市で「認知症カフェ」が本格的にスタートし、本会でも平成28年10月に「お茶処エン・フレンテ」(駿河区中野新田)を開設しました。認知症カフェは認知症のご本人の居場所となることや、介護する家族の負担軽減を図ること(ストレス発散や勉強会の開催)などを目的としています。それでは、「お茶処エン・フレンテ」の様子を覗いてみましょう。



コーヒーとお菓子でカフェタイム♪



参加者全員で楽しく体操!



どんなことをやっていますか？

認知症についての勉強会・情報提供や医師によるミニ講演会、認知症予防・介護予防のための体操や工作・レクリエーションなどを行っています。

カフェタイムでは、お茶やコーヒーとお菓子を食べながら、悩みを話したり、交流を深めたりして、楽しい時間を過ごしています。

その他、専門職による相談コーナーも設けています。



どのような方が参加できますか？

認知症のご本人やご家族はもちろん、認知症に関心のある方など、どなた様でもご利用いただけます。開催日当日に直接お越しください。

また、地域のボランティアの方にも運営にご協力をいたしております。

※ボランティアでご協力くださる方を随時募集中です!!

※シニアサポート受入れ施設となっています。



認知症を地域で支えていくためには？

認知症の方やそのご家族が地域で安心して暮らしていくためには、まず、地域住民一人ひとりが認知症についての正しい知識を得ることが大切だと思います。

この事業が、地域住民の方の学びや交流のきっかけになればと思いますし、市内に多くの認知症カフェが出来ることが、認知症の方にやさしい地域づくりに繋がるはずと考えています。

お茶処 エン・フレンテ

(4月からの日程は、決まり次第本会ホームページに掲載します)

〒422-8051 静岡市駿河区中野新田 349-1

総合介護サービスセンターしづおか「エン・フレンテ」内
TEL.054-280-4964

<https://www.shizuoka-shakyo.or.jp/service/kaigo.html#cafe-info>
お気軽にご参加・お問い合わせください!!

(駐車スペースが限られています。お車でご来場の際は、事前にお電話ください。)

参加費 お一人様 100円



民生委員制度創設100年を振り返る

新連載

第1回 地域に根ざした民生委員活動

※5月12日は民生委員の日です。

28年12月1日現在
民生委員制度は、大正時代に始まりた「済世顧問制度(大正6年)」や「方面委員制度(大正7年)」が始まりとされ、今年(平成29年)は、その創設から100年目という記念の年にあたります。方面委員制度は大阪で始まり、昭和3年頃には全国的に制度が普及。小学校などに配置された方面委員が、訪問活動により住民の生活実態を把握とともに、貧しい家庭への救済を行いました。戦後、民生委員と名称が変わった後も、低所得世帯の援護のための世帯更生運動を全国展開して、世帯更生資金(現・生活福祉資金)の創設につなげた3年頃には、全国的に制度が普及。小学校などに配置された方面委員が、訪問活動により住民の生活実態を把握とともに、貧しい家庭への救済を行いました。本紙では、制度創設100年を記念し、こうした民生委員制度の歴史を全6回にわたる連載で振り返ります。(次号へ続く)

民生委員・児童委員は、住民の立場で生活上の相談に応じ、必要な支援を行う地域のボランティアです。静岡市では1152人が、厚生労働大臣から委嘱を受けて活動しています。(平成28年12月1日現在)



ぼくたち
わたしたち

オクシズっ子!!

今話題の静岡市北部・中山間地（通称「オクシズ」）では、
地元の小中学生が自分たちの暮らす地域をよりよくしようと様々な活動をしています。
今回は、オクシズの将来を担う子どもたちの活躍を紹介します。

私たちが
育てたお花を
どうぞ♪

大川中学校



大川中学校では、「花を届ける活動」を実施しています。この活動は、生徒たちが種から育てたマリーゴールドの花にヒマワリの種と手書きのメッセージカードを添え、地域の高齢者にプレゼントするというものです。訪問の前には、事前学習として、「高齢者にどんな話をしたら喜びそうか」といったことを話し合っています。当日は、民生委員の皆さんの協力も得て、150世帯以上のお宅を訪問しています。お花をもらった高齢者の中には、涙を流して喜んでくれる方もいらっしゃるそうです。

「花を届ける活動」は、「大川地区を元気にしよう」という生徒たちの気持ちから始まり、今年で20年目を迎えます。この活動を通して、生徒たちが、自分の住む地域への愛着と誇りを胸に、健やかに成長してくれることを願います。



昔の歌を覚えたよ！

賤機北小学校



皆さん、「安倍川粘土つき唄」という歌をご存知ですか？これは、昔から安倍川の土手を築いた人々が歌っていた労働歌です。賤機北小学校では、子どもたちがこの歌を覚え、地区社協が実施するS型デイサービスなどで、地域の高齢者に披露しています。高齢者と子どもが接する機会が少ない賤機北地区において、この2つの世代が地元の歌をとおして交流する場となるよう小学校と地区社協などが連携して実施しています。

子どもたちは、歌い手と踊り手、土手の基礎となる粘土のつき手の3グループに分かれて歌います。高齢者の中には、若い頃に「安倍川粘土つき唄」を歌った方もおり、懐かしそうに口ずさんでいる姿も見られます。

子どもは地域の宝であり、伝統を継ぐ彼らが将来の賤機北地区を担ってくれることを願い、地域全体で子どもたちの成長を見守っています。

AOI 葵区



様々なイベントを通して 地域の方と交流

社会福祉法人 静岡手をつなぐ育成の会
「ラポール川原みなみ」

「ラポール川原みなみ」では、開設以来地域との交流活動を大切にしています。職員の金子良子さんにお話をうかがいました。

◆「ラポール川原みなみ」の地域交流イベント

わくわくまつり(5月)…地域のボランティア約30名が協力

夏休みわくわくものづくり体験(8月)…13年間で約100名の親子が参加

作品展(3月)…来場者150名(平成28年)

多くの地域の方でぎわう「わくわくまつり」



「夏休みわくわくものづくり体験」

ひと言 ボランティアの望月文子さん

10年以上交流を続けており、毎年「わくわくまつり」には仲間のボランティア10名程と一緒に参加しています。これからも色々な事を一緒にやりたいと思っています。

昨年は、西脇自治会の防災訓練に参加し、地域の方達との顔の見える関係がさらに深まりました。

今では地域の方達が「おはよう」「今日はもう帰るの？」など利用者に声を掛けてくださったり、「お祭りに出てみたい？」と誘ってくださったりと常に気にかけていただいています。毎日の活動の中にも4名の地域のボランティアが参加し、作業の手伝いや利用者の話し相手をしてくださっています。

災害時の生活を考えても、顔の見える関係があることで利用者は地域で安心して生活することができます。

「障がいのある人は、家族以外との関わりが少なくなっていますから、地域の方達と交流し関係が築けることは利用者にとって幸せなことです。」と金子さんは話してくださいました。

●ラポール川原みなみ・・・就労継続支援B型事業所。平成16年駿河区中村町に小規模授産所「工房みなみ」が開設。平成24年現在の駿河区西脇に移転。15名の利用者がアート活動、スクリーンプリント、手作り品製作等に取り組んでいる。

フェアトレードコーヒーへの取り組み

静岡県立駿河総合高校



〈問い合わせ〉
静岡県立駿河総合高等学校
駿河区有東3-4-17
TEL.054-260-6688

〈協力〉 株式会社豆乃木
浜松市西区入野町 9860-1

HPからもコーヒーの購入が可能
<http://www.hagukumuhito.net/>

「自分達でできることをしたい！」駿河総合高校には、社会貢献活動を通して学びを深めている生徒達がいます。南米ペルーの農村では、コーヒーによる収入が販売価格の100分の1程度しかありません。この窮状を課題研究のテーマに取り上げた生徒達がたどり着いたのは「フェアトレード※」でした。フェアトレードで仕入れたコーヒー豆によるドリップコーヒーを商品開発し、株式会社豆乃木の協力を得て製造・販売が実現しました。さらに静岡北特別支援学校南の丘分校（駿河総合高校）に併設の喫茶班は日頃鍛えた喫茶サービスの技術を生かし、様々な場面でコーヒーをサーブし普及協力してしています。活動をしてきた伏見夏葉さんと佐生紗梨菜さんは、「フェアトレードの勉強を通して多くの人と出会えた」「家族にもこの取り組みを伝えられた」といいます。生徒達の熱い思いが、コーヒーを作る人、売る人、買う人など多くの人々を笑顔にしています。

高校生が
世界を変える



自立までの道のりを 一緒に歩む

～シャッフルハウスの取り組みから～



インタビュー

シャッフルハウス管理人の藤下品子さんにお聞きしました

Q シャッフルハウスを作ったきっかけは？

ボランティアから始めて 28 年間福祉の現場に関わってきたことに加え、最近では「暮らし・しごと相談支援センター」の職員と一緒に支援に関わるようになり、困っている方がいれば何か協力できればと思い、シャッフルハウスを作りました。

Q 入居者と関わることで感じているやりがいは？

ある方は心に不安を抱えており、人と交流する機会として、私が関わっている介護ホームでボランティアの活動をしてもらいました。様々な年代の方とお話をすると中で、徐々にみんなと打ち解け



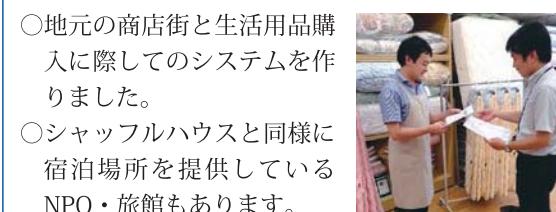
藤下品子さん

● NPO 法人泉の会理事長。家族の介護経験から「介護者を助けたい」気持ちを強く持ち、地域ボランティア養成講座受講後、受講生と共に「泉の会」を立ち上げ。その後介護ホーム「わたしのうち」、居場所「生き生きサロン 寄ってつ亭」を運営。

静岡市暮らし・しごと相談支援センターでは
他にも様々な NPO や団体と共に支援しています。

- 地元の商店街と生活用品購入に際してのシステムを作りました。
- シャッフルハウスと同様に宿泊場所を提供している NPO・旅館もあります。

【問い合わせ先】 TEL.054-371-0305



地域住民同士のつながりの希薄化などにより、世代を問わず地域から孤立する家庭が増加しています。こうした社会背景を受け、2 年前より開設している「静岡市暮らし・しごと相談支援センター」では、相談をお受けする中で NPO や福祉団体・ボランティア等と連携しながら生活の立て直しをお手伝いしています。

その中の一つ、清水区渋川にある「シャッフルハウス」では、住む場所のない相談者が自立した新生活を送るためのステップとして、仕事を探しながら自炊生活を行っています。「シャッフルハウス」という名前には「ずっと住み続ける場所」ではなく、利用者が次々と自立に向けて新たなスタートを切れるようにという思いが込められています。



困ったときはお互いさま 地域の子育てをサポートしてみませんか

静岡市ファミリー・サポート・センター

例えば…

- 仕事などで保育施設や児童クラブなどのお迎えに行けない時
- 保護者の通院に乳児を連れて行けない時
- 子育てのリフレッシュなど
おねがい会員がまかせて会員にサポートを依頼します。

ファミサポで「まかせて会員」として 8年間活動している黒柳さんにお話を聞きました



まかせて会員の黒柳しのぶさん

◆登録しようと思ったきっかけは？

子どもの小学校入学がきっかけです。何か始めようかと思っていた時に、ちょうど友達に誘われました。

◆どんな時にやりがいを感じる？

関わっているお子さんが、サポートを重ねるうちに慣れてきてくれて「黒柳さん」と名前を呼んでくれた時はうれしかったです。今でも、スーパーなどでバッタリ会うと駆け寄ってきます。



「あのね、きょうね」といった何気ない会話が
うれしいですね

子育て支援講座

年間 4 回の子育て支援講座を開講しています。
詳細はお電話または、HP→静岡 ファミサポで検索。

詳しくは下記までお問い合わせください！
【問い合わせ先】
静岡市ファミリー・サポート・センター
静岡本部 TEL.054-254-2283
清水支部 TEL.054-355-3333

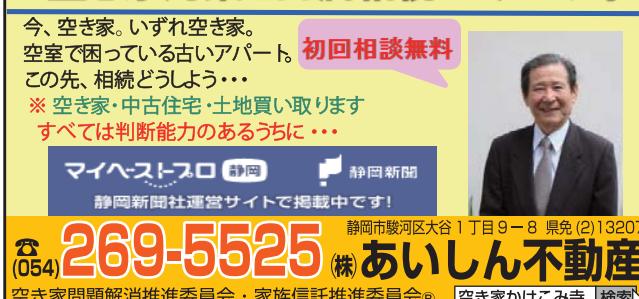
あなたも ファミサポの 「まかせて会員」に なりませんか？

「まかせて会員」は、子育て支援講座を受講した方なら、どなたでも登録できます。

- 自分の子育てが一段落した方
 - 子どもに関わるボランティアに興味がある方
 - 自分の子どもと一緒に預かってみたい方など
- 最近では、ご主人が定年退職後、ご夫婦でご活躍されている方も増えています。
また、まかせて会員はボランティアですので、お仕事しながら活動されている方もたくさんいます。(ただし、600 円～800 円程度の報酬がある有償活動になります。)

私たちは静岡市の地域福祉活動を応援しています。

空き家対策と円満相続かけこみ寺



広告掲載をされた皆さまへ

今年度は広告掲載にご協力いただき、誠にありがとうございました。
いただいた広告掲載料は、本会が実施する地域福祉活動の事業費として活用いたしました。
今後とも、本会地域福祉推進事業ならびに広報啓発事業についてご理解ご協力の程、よろしくお願いいたします。